

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Can Be (多機能型事業所)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われています。また、職員の専門性の高い支援を目指し、日々研修等に努めています。	当事業所は、曜日や時間帯によって、個別支援か集団活動を選ぶことができます。お子様の課題やご希望に応じて、組み合わせ総的な支援を行っています。日々変化していくお子様の成長や課題、保護者様のニーズや困りごとを客観的に分析するため、丁寧なアセスメントを取り、個別支援計画の作成や見直しに役立て、質の高い支援を行っています。	今後さらに、事業所内研修、社内研修、社外研修等、様々な研修を受ける機会を設け、職員の専門性を高める機会や時間の確保に努めていきます。
2	個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成し、支援を実施しています。	日々変化していくお子様の成長や課題、保護者様のニーズや困りごとを客観的に分析するため、丁寧なアセスメントを取り、個別支援計画の作成や見直しに役立てています。また、お一人お一人のご要望や課題、ご家庭のお悩みに合わせて、支援時期や内容を適切に設定し、具体的な支援目標、手だてを記載した個別支援計画を作成、交付、実践しています。	6か月ごとにモニタリングを行い、目標設定と振り返りに取り組んでいます。適切な時期に適切な見直しができるよう、PDCAサイクルを意識し、次期個別支援計画作成を行っています。
3	日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を図っています。家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っています。	送迎時や保護者様のお迎え時に、お子様のその日の様子やご家庭での様子、お悩み事等、たくさんお話をする機会があります。保護者様のご相談や兄弟児のケア等、様々なお悩みについて、個別に支援や助言を行っています。また、進路についてのご相談等も行っています。	保護者様やご家族様の研修会や情報交換会等、みんなで集まるような会は実施していませんが、今後勉強会や交流会等実施していく予定です。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、インクルージョン等、支援事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図ることに課題が残ります。	事業所のイベントとして、夏祭り、クリスマス会、豆まき等を行いました。ご家族の参加や兄弟児の参加がありましたが、地域に開かれたイベントはこれから検討します。	今後、地域の清掃や他団体とタイアップした活動、地域の夏祭りへの参加等、地域との交流活動を行っていきます。
2	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対してだけでなく、広く発信することに課題が残ります。	保護者様には、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報は、お手紙やお知らせ、通信、連絡帳にて発信していますが、業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていることや、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施していることまでは周知されていない状況があります。今後準備が整い次第、HPやSNS等を活用し広く周知していく方針です。	保護者様には、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報は、お手紙やお知らせ、通信、連絡帳にて発信していますが、外部の方々に広くお知らせするツールとして、HPやSNS等は準備中です。今後準備が整い次第、HPやSNS等を活用して行く方針です。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をすることや、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をすることに課題が残ります。	現在、保護者会のような活動はありませんが、小学校入学前の保護者様同士の交流を支援していますが、保護者会のような一堂に会しての交流、勉強会、講演等はなかなか難しい状況です。要因には、職員の勤務時間や、保護者様の様々な都合があると考えられます。	今後、保護者会の立ち上げや、勉強会、交流会の機会を設ける等、本社、事業所、保護者様と話し合いながら、工夫していきたいと考えます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス Can Be (児発)		公表日		令和7年 3月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		児童がのびのびと活動できるよう、十分なスペースを確保しています。また、死角を減らし、職員が目が届くよう工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令を遵守し、職員の配置を適切に行っています。また、加配を配置することで、より手厚い支援を目指しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		当事業所は1階に位置し、極力段差がないよう整備、工夫がなされています。また、事業所内は導線や視覚的掲示物等で児童にもわかりやすく環境整備が行われています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃の徹底に加え、玩具や人が触れやすいところの消毒を継続して行っています。また、感染症対策の観点から、換気や加温を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別療育や個別支援、クールダウン等必要に応じて、個室や個別のパーテーション等を使用し、児童への配慮を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		支援者会議や職員会議、朝礼や終礼等職員間で情報共有し、課題については改善を図っています。シフトによる職員不在の場合は、日報の引き継ぎ事項へ記載し、全職員で業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		開所して10カ月、今回が初めての事業所評価となります。今回保護者様から頂いたご意見をもとに今後も業務改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		支援者会議や職員会議、年2回の個人面談、朝礼や終礼等、職員からの意見を尊重し、課題については改善を図っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価等は行っていないですが、本社の内部監査による評価を実施し、業務改善に取り組んでいます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内研修、社内研修、社外研修等、様々な研修を受ける機会を設け、職員の専門性を高める機会や時間の確保に努めています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムの作成や個別支援計画の作成を行い、保護者様に交付しています。3月、HPの開設に伴い掲載する予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		日々変化していくお子様の成長や課題、保護者様のニーズや困りごとを客観的に分析するため、丁寧なアセスメントを取り、個別支援計画の作成や見直しに役立っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		アセスメントや個別支援計画(原案)を基に、職員全員で支援者会議を開き、お子様の最善の利益を考慮したカンファレンスを行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援者会議で共有された情報は、児童の個人ファイルにまとめられ、職員が都度確認できるように保管され、個別支援計画に沿った支援が行われるよう工夫されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		個別支援計画の5領域や支援内容に沿ったアセスメントツールを活用し、より細やかな部分までお聴き取りできるように工夫しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		お一人お一人のご要望や課題、ご家庭のお悩みに合わせて、支援時期や内容を適切に設定し、具体的な支援目標、手だてを記載した個別支援計画を作成、交付、実践しています。		

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児発管を中心に、職員みんなでアイデアを出し合いプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		サービス提供記録を確認しながら、活動プログラムが固定化しないよう、全職員がアイデアを出し合いながら工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		当事業所は、曜日や時間帯によって、個別療育か小集団療育を選ぶことができます。お子様の課題やご希望に応じて、組み合わせる児童発達支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に昨日の申し送り、本日利用児童、送迎表、活動プログラム、役割分担について確認し、職員間で打ち合わせをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼時に本日の申し送り、明日利用児童、送迎表の確認、振り返りを行い職員間で情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々、サービス提供記録、日報、申し送り事項等、記録を取り、ファイルにまとめ、職員が確認できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月ごとにモニタリングを行い、目標設定と振り返りに取り組んでいます。適切な時期に適切な見直しができるよう、PDCAサイクルを意識し、次期個別支援計画作成を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		開所して10カ月の為、まだ担当者会議は行われていませんが、相談支援員の方々と情報交換をしながら、関係機関と連携できるよう、児発管を中心に職員体制を整えています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関との連携は積極的に進めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者様と相談しながら、園や学校と情報共有を行い、連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者様のご要望をお聞きして、引き継ぎシート等を作成し、園や学校へ伺い面談の上情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	当事業所と児童発達支援センターを併用している児童については情報共有をし、連携を図っています。	当事業所と児童発達支援センターを併用していない児童については実施できていないと感じています。センターにつながっていない児童を今後どのようにつないでいくかが課題です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	地域の園や学校に通われているお子様については、交流の機会があると感じますが、当事業所が主体となって実施したことはありません。	今後、地域の夏祭りへの参加、園や学校との交流の場をどのように設定していくかが課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や保護者様のお迎え時に、お子様のその日の様子やご家庭での様子、お悩み事等、たくさんお話をする機会があります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者様のご相談や兄弟児のケア等、様々なお悩みについて、個別に支援や助言を行っています。また、小学校入学に向けてのご相談等も行っていきます。	保護者様やご家族様の研修会や情報交換会等、みんなで集まるような会は実施していません。今後実施していく予定です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学時・体験時・契約時に丁寧に説明をしています。また、相談室等に掲示し、保護者様がいつでも確認できるようにしています。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画作成の前には、お子様の得意なことや保護者様のご希望等、アセスメントをしっかりと行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画交付時は必ず面談形式をとり、丁寧に説明をしています。また、修正等があれば伺い、必ず同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に面談の機会を設け、ご相談やお悩み事等を伺い、助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会のような活動はありませんが、小学校入学前の保護者様同士の交流を支援しています。	今後、保護者会や交流会の機会を設ける等、支援をしていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		営業時間内のご相談や申し入れには、すぐに対応できるように体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報は、お手紙やお知らせ、通信、連絡帳にて発信しています。	HPやSNS等は準備中です。今後準備が整い次第、HPやSNS等を活用して行く方針です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いには十分に注意しています。鍵のかかるキャビネットで保管しています。また、職員研修も行っていきます。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚優位（紙面で）、聴覚優位（口頭で）の方々に合わせた方法や、言語に頼らない方法（絵カード）でのコミュニケーションを工夫しています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	事業所のイベントとして、夏祭り、クリスマス会、豆まき等を行いました。ご家族の参加や兄弟児の参加がありました。	事業所のイベントとして、夏祭り、クリスマス会、豆まき等を行いました。地域に開かれたイベントはこれから検討します。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		法令を遵守し、各マニュアルを作成しています。重要事項説明時に丁寧に説明をしています。事業所内では閲覧が可能で、研修や避難訓練も年2回行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		法令を遵守し、業務改善計画（BCP）を策定しています。避難訓練や備蓄品の確認、非常時の連絡体制等確認をしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		アセスメントを行う際に、症状や緊急対応方法をお聞きしています。また服薬の介助が必要な際は、与薬表にご記入いただいています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アセスメントを行う際に、症状や緊急対応方法をお聞きしています。またエビベン等の緊急対応の訓練も行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		重要事項説明時に丁寧に説明をしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		終礼、朝礼で共有しています。また、ヒヤリハットの事例を研修等で振り返り、考える機会を設定しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法令を遵守し、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の開催や研修をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		法令を遵守し、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の開催や研修をしています。身体拘束についてはまだ対応事例はありません。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス Can Be (放デイ)		公表日		令和 7年 3月 17日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		児童がのびのびと活動できるよう、十分なスペースを確保しています。また、死角を減らし、職員の目が届くよう工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令を遵守し、職員の配置を適切に行っています。また、加配を配置することで、より手厚い支援を目指しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		当事業所は1階に位置し、極力段差がないよう整備、工夫がなされています。また、事業所内は導線や視覚的掲示物等で児童にもわかりやすく環境整備が行われています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃の徹底に加え、玩具や人が触れやすいところの消毒を継続して行っています。また、感染症対策の観点から、換気や加湿を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別支援やクールダウン等必要に応じて、個室や個別のパーテーション等を使用し、児童への配慮を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		支援者会議や職員会議、朝礼や終礼等職員間で情報共有し、課題については改善を図っています。シフトによる職員不在の場合は、日報の引き継ぎ事項へ記載し、全職員で業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		開所して10カ月、今回が初めての事業所評価となります。今回保護者様から頂いたご意見をもとに今後も業務改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		支援者会議や職員会議、年2回の個人面談、朝礼や終礼等、職員からの意見を尊重し、課題については改善を図っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価等は行っていませんが、本社の内部監査による評価を実施し、業務改善に取り組んでいます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内研修、社内研修、社外研修等、様々な研修を受ける機会を設け、職員の専門性を高める機会や時間の確保に努めています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムの作成や個別支援計画の作成を行い、保護者様に交付しています。3月、HPの開設に伴い掲載する予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々変化していくお子様の成長や課題、保護者様のニーズや困りごとを客観的に分析するため、丁寧なアセスメントを取り、個別支援計画の作成や見直しに役立てています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		アセスメントや個別支援計画（原案）を基に、職員全員で支援者会議を開き、お子様の最善の利益を考慮したカンファレンスを行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援者会議で共有された情報は、児童の個人ファイルにまとめられ、職員が都度確認できるように保管され、個別支援計画に沿った支援が行われるよう工夫されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		個別支援計画の5領域や支援内容に沿ったアセスメントツールを活用し、より細やかな部分までお聴き取りできるように工夫しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		お一人お一人のご要望や課題、ご家庭のお悩みに合わせて、支援時期や内容を適切に設定し、具体的な支援目標、手だてを記載した個別支援計画を作成、交付、実践しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児発管を中心に、職員みんなでアイデアを出し合いプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		サービス提供記録を確認しながら、活動プログラムが固定化しないよう、全職員がアイデアを出し合いながら工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		当事業所は、曜日や時間帯によって、個別支援か集団活動を選ぶことができます。お子様の課題やご希望に応じて、組み合わせで総合的な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に昨日の申し送り、本日利用児童、送迎表、活動プログラム、役割分担について確認し、職員間で打ち合わせをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼時に本日の申し送り、明日利用児童、送迎表の確認、振り返りを行い職員間で情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々、サービス提供記録、日報、申し送り事項等、記録を取り、ファイルにまとめ、職員が確認できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月ごとにモニタリングを行い、目標設定と振り返りに取り組んでいます。適切な時期に適切な見直しができるよう、PDCAサイクルを意識し、次期個別支援計画作成を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		「自立活動と日常生活の充実の為の活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を意識した支援を行っています。	「地域交流の機会の提供」はまだ行われていませんが、事業所前の公園で地域の子どもたちと触れ合う機会があります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		スケジュールを自分で決めたり、意思表示を表現したりと、お子様の気持ちを尊重して支援を行っています。	職員が提示する選択肢は一見お子様が自己決定しているように見えて、選択肢が限定されているようなことがないように注意が必要です。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		開所して10か月の為、まだ担当者会議は行われていませんが、相談支援員の方々と情報交換をしながら、関係機関と連携できるよう、児発管を中心に職員体制を整えています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関との連携は積極的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様と相談しながら、学校と情報共有を行い、連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者様のご要望をお聞きして、引き継ぎシート等を作成し、園や学校へ伺い面談の上情報共有と相互理解を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		まだ大きなお子様がいませんので、そのような機会はありませんが、保護者様のご要望をお聞きして、引き継ぎシート等で情報共有できるように準備を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	当事業所と児童発達支援センターを併用している児童については情報共有をし、連携を図っています。	当事業所と児童発達支援センターを併用していない児童については実施できていないと感じています。センターにつながっていない児童を今後どのようにつないでいくかが課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	地域の学校に通われているお子様については、交流の機会があると感じますが、当事業所が主体となって実施したことはありません。	今後、地域の夏祭りへの参加、学校との交流の場をどのように設定していくかが課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しています。他事業所との交流や意見交換、勉強会等、参加しています。	北九州市にこども部がないので、ぜひ創設をしていただきたいです。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や保護者様のお迎え時に、お子様のその日の様子やご家庭での様子、お悩み事等、たくさんお話をする機会があります。		

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者様のご相談や兄弟児のケア等、様々なお悩みについて、個別に支援や助言を行っています。また、進路についてのご相談等も行っていきます。	保護者様やご家族様の研修会や情報交換会等、みんなで集まるような会は実施していません。今後実施していく予定です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学时・体験時・契約時に丁寧に説明をしています。また、相談室等に掲示し、保護者様がいつでも確認できるようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画作成の前には、お客様の得意なことや保護者様の希望等、アセスメントをしっかりと行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画交付時は必ず面談形式をとり、丁寧に説明をしています。また、修正等があれば伺い、必ず同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に面談の機会を設け、ご相談やお悩み事等を伺い、助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会のような活動はありませんが、小学校入学前の保護者様同士の交流を支援しています。	今後、保護者会や交流会の機会を設ける等、支援をしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		営業時間内のご相談や申入れには、すぐに対応できるように体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報は、お手紙やお知らせ、通信、連絡帳にて発信しています。	HPやSNS等は準備中です。今後準備が整い次第、HPやSNS等を活用して行く方針です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いは十分に注意しています。鍵のかかるキャビネットで保管しています。また、職員研修も行っていきます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚優位（紙面で）、聴覚優位（口頭で）の方々に合わせた方法や、言語に頼らない方法（絵カード）でのコミュニケーションを工夫しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	事業所のイベントとして、夏祭り、クリスマス会、豆まき等を行いました。ご家族の参加や兄弟児の参加がありました。	事業所のイベントとして、夏祭り、クリスマス会、豆まき等を行いました。地域に開かれたイベントはこれから検討します。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		法令を遵守し、各マニュアルを作成しています。重要事項説明時に丁寧に説明をしています。事業所内では閲覧が可能で、研修や避難訓練も年2回行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		法令を遵守し、業務改善計画（BCP）を策定しています。避難訓練や備蓄品の確認、非常時の連絡体制等確認をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		アセスメントを行う際に、症状や緊急対応方法をお聞きしています。また服薬の介助が必要な際は、与薬表にご記入いただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アセスメントを行う際に、症状や緊急対応方法をお聞きしています。またエビペン等の緊急対応の訓練も行っていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		重要事項説明時に丁寧に説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		終礼、朝礼で共有しています。また、ヒヤリハットの事例を研修等で振り返り、考える機会を設定しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法令を遵守し、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の開催や研修をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		法令を遵守し、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の開催や研修をしています。身体拘束についてはまだ対応事例はありません。		